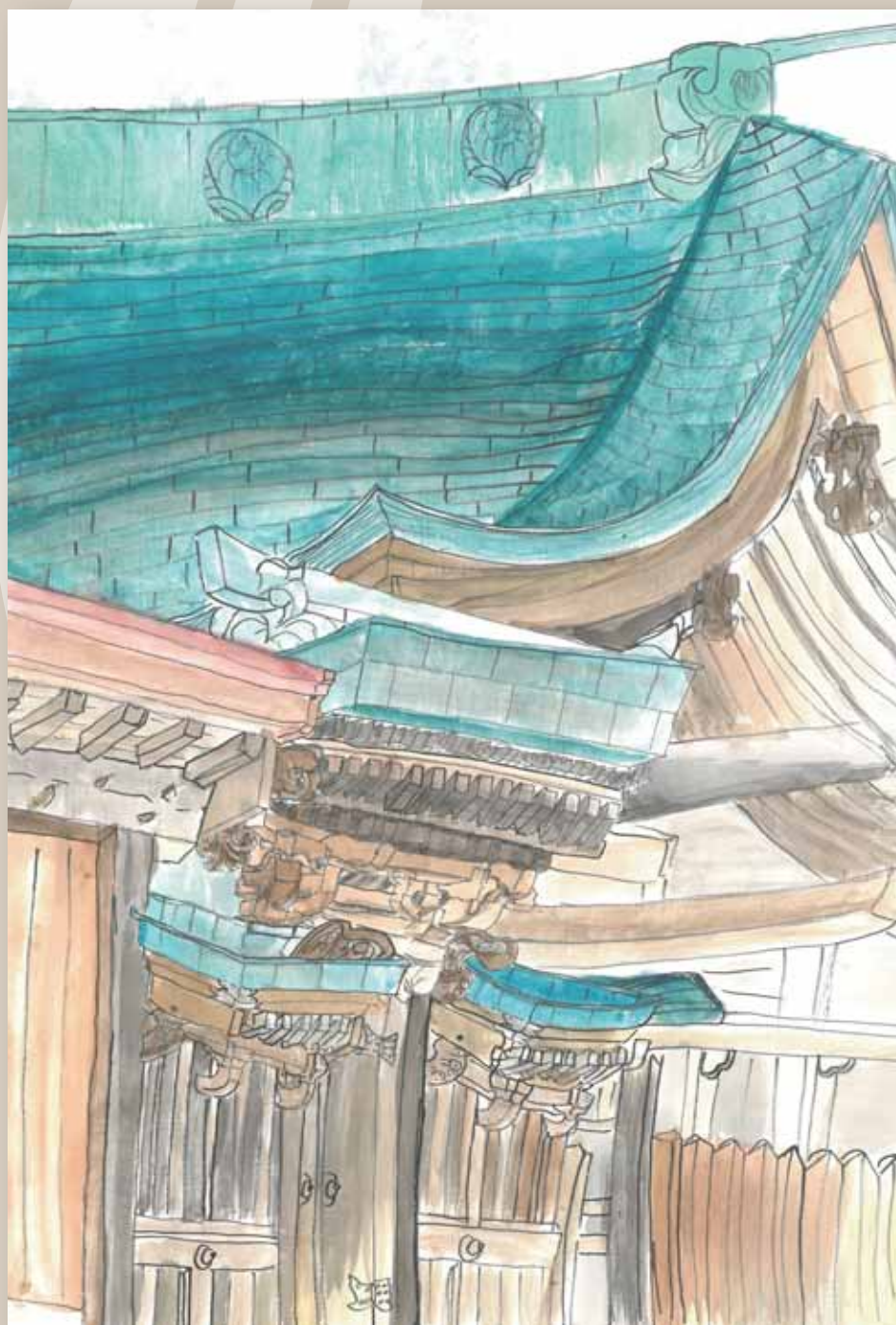


平成29年度

島根 教弘 会報

vol.2



「櫛代賀姫神社のきれいな屋根」

益田市立吉田小学校 六年 吉田紅杏さん

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
株式会社 島根教弘

「子どもたちと共に」

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
副支部長 永田千秋



この度、大崎副支部長の後任として、6月16日から副支部長を務めることとなりました。この重責を引き継ぐには微力ではありますが、皆様方のご支援とご協力を賜りながら、職責を果たしてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

先日の運営委員会の席で、西支部長が、『「最終受益者は子どもたちである。」という観点に基づき、『明日を担う子どもたち』のために事業を行っています。』と言われ、改めて公益財団法人日本教育公務員弘済会の素晴らしさを感じました。

まだ10数校ではありますが、学校訪問を通して実感したことは、日教弘の事業があまり縛りを設けていないことの良さです。多くの校長先生方が、日教弘の事業を活用しておられ、子どもたちのために上手く利用しておられました。学校現場の手応えを感じ、元気をもらいました。

昨年の12月まで、益田市の教育委員を一期務めました。その時、秦佐八郎顕彰委員を兼務しました。今から10数年前の益田市の小中学校では、「秦佐八郎博士」と言っても知らない児童生徒がほとんどでした。しかし、今ではほとんどの児童生徒が、その存在を知っています。顕彰委員の方々のご尽力と、「ふるさと教育」の取組みの成果だと思います。

秦佐八郎博士は、現在の益田市美都町で生まれ、医師の養子となって医学を志し、現在の岡山大学医学部を卒業して北里柴三郎が所長を務める伝染病研究所に入所し、ペストの研究に取り組みました。1907年にドイツに留学し、1910年、不治の病として恐れられていた梅毒の特効薬である「サルバルサン（エールリッヒ・秦606）」が完成して、世界中に福音を授けました。

彼は、勤勉で威張らない性格と、父母や家族、恩師に対して報恩の心を持ち、郷土愛の強い人であったようです。彼の人生姿勢についてのことば（解説：北里柴三郎記念室 森孝之氏）は示唆に富み、心に響くものがあります。—「好機・幸運（チャンス）をつかむためには、日々のたゆまぬ研鑽が必要である。目の前にあるチャンスを見抜き、見逃さないことが大事であります。そして、決して、手柄自慢をしないという事であります。…手柄自慢をしないで、更に向上する、更に日々の研鑽を積む、そうすることによって知らぬ間によりチャンスに恵まれて、よい研究素材が手に入ってきて、新しい発見・発明につながっていくのです。」「知的好奇心としての夢をもつこと。その夢をずっと考え続けること。夢は諦めたら終わりですが、諦めなかったら夢は続く、そういう姿勢でやっていくことが最も大事なことなのです。」— 今も昔も今からも、人が大切にしなければならない心の在り方や生き方を、秦佐八郎博士から学んだような気がします。

日教弘の事業を通して、子どもたちの夢を叶えるためのお手伝いができれば幸いに思います。「子どもの貧困」が社会問題化している状況下にあって、日教弘の奨学金給付事業は貴重な子ども教育支援です。子どもたちのための公益財団法人であることの意義と役割をしっかりと認識し、教育振興事業の更なる充実と発展に努めてまいりたいと思います。

平成29年度

教育実践研究論文の審査が終了しました

募集部門は、①学校部門（教育研究団体を含む）、②個人部門（研究グループを含む）の2部門、募集期間は、今年度から、8日長くし、平成29年5月1日から6月8日までとしました。全部で31編の応募がありました。



優秀（個人部門）表彰 柳樂 淳一 教諭
於 島根県立出雲工業高等学校

作品の応募状況、研究主題、審査会（一次審査、二次審査）の審査結果や審査所感は以下の通りです。

「佳作」以上の作品には助成金を、「入選」以上の作品には賞金を、「特選」以上の作品には賞状を添えて業績を称え表彰しました。なお、「優秀」と「特選」に選ばれた作品は、『島根の教育研究と実践』として、平成30年2月に発行し、各園・学校及び教育機関に配布することとしています。また、併せて学校部門2編、個人部門1編を日教弘教育賞へ推薦しました。



優秀（学校部門）表彰 於 出雲市立出東幼稚園

1. 平成29年度応募状況

(1) 部門別

学校部門(教育研究団体を含む)	21編
個人部門(研究グループを含む)	10編

(2) 教科・領域別

教科 (19)	国語、社会、算数・数学、図画工作・美術、保健、外国語														
	7	2	5	1	1	3									
領域等 (12)	道徳、総合学習、学習指導、特別支援教育、人権・同和教育、図書館教育、幼稚園教育														
	1	2	1	1	1	1	1	1	1	3					
	健康教育、食育														
	1	1													

(3) 地域・校種別

	松江	安来	雲南	仁多	飯石	出雲	大田	江津	邑智	浜田	益田	鹿足	島後	島前	計
幼						3									3
小	3	2	3	1	1	1	4				1	1	1		18
中			1			1	2				1	2			7
高	1					1									2
特									1						1
計	4	2	4	1	1	6	6	0	1	0	2	3	1	0	31

2. 平成29年度教育実践研究論文一覧

【学校部門(教育研究団体を含む)】

支部名	学校名・申請代表者氏名	教科領域等	研究主題等	評価
安来	安来市立島田小 荒金 修 (14名)	国語	子どもの問いから出発する授業づくり ～国語科指導の取組から～	
安来	安来市立南小 森下 勇 (14名)	国語	ともに学び合い、いきいきと表現する子どもの育成 ～国語科の実践を通して～	
仁多	奥出雲町立三沢小 持田 健司 (14名)	国語	主体的に学び 共に高め合う 三沢っ子の育成 ～対話を通して考えを深める授業づくり～	
大田	大田市立朝波小 菅本 至洋 (12名)	国語	確かに学び、自分の思いを豊かに表現する児童の育成 ～表現力を育成する学習指導の工夫～ (3年次)	
大田	大田市立志学小 岩谷 律子 (8名)	国語	確かで、豊かな言葉の使い手を育てる ～国語科の学習をとおして～	特選
島後	隠岐の島町立都万小 齋藤 尚文 (16名)	国語	国語科における「授業のユニバーサルデザイン」の視点を取り入れたどの子も分かる楽しい授業づくり	特選
松江	松江市立宍道小 西尾 誠 (21名)	算数	自ら考え、思いを伝え合い、共に課題を解決しようとする子どもの育成 ～振り返りのあり方を追究する～	
雲南	雲南市立西日登小 梶谷 朱美 (11名)	算数	主体的に学び、共に高め合う子どもの育成 ～子どもが進める算数の授業のあり方を追究して～ (3年次)	
益田	益田市立吉田小 領家 芳明 (38名)	算数	「かかわり」をとおして、考えることを楽しむ授業づくり ～算数が好きな児童の育成をめざして～	
雲南	雲南市立吉田小 坂田 英則 (22名)	外国語	高学年外国語科における中学校につながる文字指導の在り方 ～「コミュニケーションに文字を活用する子供の姿」をめざして～	
雲南	雲南市立吉田中 勝部 由紀夫 (24名)	外国語	へき地・小規模校における表現力と自己肯定感の育成のための取組 ～英語教育における指導法の改善を中心として～	
大田	大田市立第二中 浄西 昭憲 (36名)	道徳	豊かな心を持ち、自ら学ぶ生徒の育成 ～道徳の時間の指導の工夫と充実～	
出雲	出雲市立大社中 土江 志朗 (39名)	総合学習	「社会とのつながり」を活用し学力(学ぶ力、学んだ力)の土台を築くためには ～家庭や地域と協働して子どもたちの視野を広げることができるを増やす取組～	
大田	大田市立第三中 上田 直樹 (17名)	総合学習	すすんで関わり、豊かに表現する生徒の育成 ～特色ある教育活動の実践をとおして～	
鹿足	津和野町立日原中 林 衛 (13名)	学習指導	意欲的に学ぶ生徒の育成 ～ICTを活用した授業づくりをとおして～	
雲南	雲南市立大東小 佐藤 文宣 (27名)	特別支援教育	一人一人の違いを理解し、寛容な心でかかわり合う児童の育成 ～様々な障がいのある児童に対する周囲への理解教育の取組を通して～	優秀

支部名	学校名・申請代表者氏名	教科領域等	研究主題等	評価
益田	益田市立益田中 房野 登美裕 (39名)	人権・同和教育	互いのちがいを認めあい ともに成長しようとする生徒の育成 ～安心して学ぶことができる集団づくりを通して～	
飯石	飯南町立赤名小 西村 孝司 (18名)	図書館教育	主体的に学び、思いを表現していく児童の育成 ～学校図書館における図書資料とICT機器等の相乗効果的 活用の取組を通して～	
出雲	出雲市立大津幼 板倉 裕子 (6名)	幼稚園教育	喜んで体を動かして遊び、心も体もしなやかな幼児の育成 ～幼児の発達と生活の連続性を踏まえた環境の構成と援助 を探りながら～	
出雲	出雲市立出東幼 石原 順 (8名)	幼稚園教育	「体を動かすことを楽しみ 考えたり試したりしながら生き 生きと生活する幼児の育成」	優 秀
鹿足	吉賀町立朝倉小 中島 恵治 (7名)	健康教育	「みがいている」から「みがけている」ブラッシングができ る児童の育成 ～集団指導・個別指導を通した歯と口の健康づくり～	

【個人部門（研究グループを含む）】

支部名	学校名・申請者氏名	教科領域等	研究主題等	評価
松江	松江市立出雲郷小 森 脇 久美子 (6名)	国 語	確かなことばの定着をめざした国語科学習を求めて	
松江	松江市立出雲郷小 門 脇 元子 (6名)	社 会	地域に愛着をもたせるための地域教材の開発 ～第4学年社会科「郷土の発展に尽くした佐藤忠次郎」の 実践を通して～	
鹿足	吉賀町立六日市中 山本 悦生 (1名)	社 会	ふるさとの未来や私たちの生き方を問う地理学習 ～「里山資本主義」の視点でとらえる「吉賀町のこれから」～	
大田	大田市立五十猛小 山本 裕子 (1名)	算 数	主体的に学び合う算数の授業づくり	優 秀
出雲	県立出雲工業高 柳 樂 淳一 (1名)	数 学	高校数学における「関心・意欲・態度」を高める協働学習 ～「知識構成型ジグソー法」を活用した実践を通して～	優 秀
邑智	県立石見養護学校 沖 瑞 穂 (1名)	美 術	知的障がい特別支援学校中学部における美術の指導に関する 一考察 ～見て描く力を伸ばし絵画表現を広げる活動～	特 選
大田	大田市立川合小 丸 亀 貴彦 (2名)	保 健	がんについて正しく理解することができ、健康と命の大切さ について主体的に考える児童の育成をめざして	特 選
松江	県立松江東高 FACEBOOKグループCEEA 緒 方 孝 (7名)	外 国 語	(続) SNSを活用した教科指導に関わる情報シェア	
出雲	出雲市立塩冶幼 藤 江 素子 (2名)	幼稚園教育	幼児期における「学びに向かう力」を育てるために ～5歳児「塩冶のまち探検」の活動を通して～	
出雲	出雲市立四絡小 西村 範子 (6名)	食 育	未来の自分を支える基本的な食習慣の確立	

3. 審査結果 [評価段階別一覧表]

部門・評価	優 秀	特 選	入 選	佳 作	無評価	合 計
学校部門	2	2	11	6	0	21
個人部門	2	2	4	1	1	10

<参考> 平成29年度の助成金及び賞金の額

		助 成 金		賞 金		
		優秀～佳作	優 秀	特 選	入 選	佳 作
学 校 (団体)	21人以上	7万円	5万円	3万円	1万円	0
	11～20人	6万円	5万円	3万円	1万円	0
	6～10人	5万円	5万円	3万円	1万円	0
	5人以下	3万円	5万円	3万円	1万円	0
個 人 (グループ)	6人以上	5万円	5万円	3万円	1万円	0
	5人以下	3万円	5万円	3万円	1万円	0
	1人	1万円	5万円	3万円	1万円	0

(注)この額は、毎年度幹事会において決定されます。

4. 審査委員 (敬称略)

(1) 一次審査委員

審査委員長	梶 谷 光 弘	元出雲市立斐川西中学校長
審査委員	杉 原 充知恵	元松江市立古志原幼稚園長
〃	高 橋 恒 夫	前松江市立乃木小学校長
〃	塩 田 律 子	前松江市立宍道小学校長
〃	石 原 順	前出雲市立中部小学校長
〃	驛 田 省 吾	前邑南町立瑞穂中学校長
〃	岩 井 元 康	元島根県立三刀屋高等学校長
〃	岡 笑 子	前島根県立浜田ろう学校長

(2) 二次審査委員

審査委員長	鴨 木 朗	県教育委員会教育長
審査副委員長	片 寄 進	県教育庁教育監
審査委員	井 上 晴 美	島根県国公立幼稚園・こども園長会長 (松江市立出雲郷幼稚園)
〃	橋 本 健 司	島根県小学校長会長 (松江市立法吉小学校)
〃	園 山 信 夫	島根県中学校長会長 (松江市立湖南中学校)
〃	小 山 理 久	島根県公立高等学校長協会長 (島根県立松江北高等学校)
〃	三 島 賢 隆	島根県特別支援学校長会長 (島根県立松江養護学校)
〃	片 山 寛 志	島根県教育研究会長 (松江市立湖北中学校)
〃	領 家 芳 明	(公財)日教弘島根支部幹事 (益田市立吉田小学校)
〃	客 野 智	(公財)日教弘島根支部運営委員 (安来市立布部小学校)

5. 審査委員会の審査所感

(1) 研究に対する取組の姿勢等について

- ・学校として教職員が同一方向で取り組む論文が増えた。論文にまとめることにより、全教職員が一丸となって研究に取り組む方策になっていると感じられ、その姿勢と意欲に敬意を表したい。
- ・学校として継続した研究には質の高まりが感じられ、毎年論文にまとめられる姿勢を評価したい。

- ・自校の教育課題や子どもの実態把握に努め、その改善に努めた実践研究が増えた。今後、研究の一層の深まりを期待したい。
- ・継続研究は、研究計画の何年目に当たるかを明確にし、前年度の反省、成果や課題を踏まえ、それに基づいて本年度の改善点や研究の積み上げを明確にして取り組む必要がある。
- ・多くの実践例をあげた論文は、教職員が一体となり取り組まれた熱意が読み取れた。しかし、紙面が限られており、たくさんの実践例を述べようとすると表面的な論述になりがちである。研究仮説に基づき、実践例を絞り、焦点化してまとめる工夫も必用である。
- ・個人部門で、前年度に続いて応募された論文があったが、その意欲に敬意を表したい。個人として研究に取り組む意欲と論文にまとめる力が窺えた。

(2) 研究・実践の内容・分野、方法等について

- ・今日的教育課題を取り上げ、学校の実態や課題を明確にし、家庭、地域と連携した実践をまとめた論文があったが、取組の姿勢に敬意を表したい。児童、家庭、地域への情報発信もされている内容等は、人権教育上の啓発活動に繋がるものであり、他校の参考になるに取組であり高く評価したい。
- ・今日的な教育課題を取り上げ、研究テーマを設定した取組については、意欲と熱意が感じ取れた。その中で、独自性や提案性がどのように表出されるかを検討することが必要となる。
- ・新学習指導要領に基づく教科の指導方法の充実が求められる。教科としての道徳、また、英語科も導入される。これらの対応も喫緊の課題となっており、各教科等に関する指導方法の研究を深めることも必要となっている。応募論文について、研究の広がりや深まりを期待したい。
- ・研究論文としてのまとめる場合には、形式にこだわり過ぎず、研究内容に即した具体的な手立てを取り上げ論述することが大切である。日教弘教育賞の優秀論文を読んでも、仮説→検証の形式を整えなくても、研究内容や実践が明確に論述されている論文が多い。
- ・教科の研究に関する論文が少なかった。英語科や教科としての道徳の導入を控えている。学力向上を図ることも重要な課題となっており、教科の学習指導方法に関する研究の広がりや深まりを期待したい。

(3) まとめ方・記述の仕方等について

- ・実践記録的にまとめられている論文は評価が難しい。募集要項の中でも注意を喚起するとともに、評価をどのようにするのか明記する必要があるのではないか。
- ・研究の基盤となる子どもの実態把握の具体的な記述や変容の姿が窺えない論文がある。子どもの実態の分析や変容した様子は、教師の主観的な捉えに偏ることなく、具体的、客観的なデータに基づいた分析をし、その結果を記述することが必要である。
- ・文字数や行数等について様式が守られていない論文があった。応募に当たって、募集要項を熟読し、定められた約束を守ることは、研究論文として当然必要なことである。
- ・執筆者や自校でしか通じない用語の使用や表現の仕方をしている論文があった。用語の定義を明確にして表現することが必要である。
- ・論文の記載内容や写真等について、保護者の理解と承認を得ておくことは応募に際して前提となることである。この点について要項に示す必要があるのではないか。

(4) その他

- ・継続して応募されている学校や個人に対して、研究の深まりが読み取れるよう、研究方法や論文としてのまとめ方等について助言をしたいと感じている。しかし、助言の内容について、一次、二次の審査会を通じて検討する必要があることから、現段階では困難であり、やむを得ないと感じている。

(公財)日教弘島根支部は 島根の子どもたち・教職員の皆様に応援しています

(1) 平成29年度奨学事業の給付者・貸与者を決定しました。

平成29年度給付奨学生(高校生等対象)を募集したところ、47名の応募があり、選考の結果47名全員が、給付奨学生として決定されました。予算総額を45万円上回りましたが、一人当たり15万円(総額705万円)の給付を行いました。

各高等学校・特別支援学校等へ本会役員が出かけ、校長先生の立会いのもと、本人・保護者に対して目録をお渡ししました。

また、平成29年度貸与奨学生(大学生等対象)を募集したところ、28名の応募があり、選考の結果28名に対し、総額2,500万円を貸与することに決定しました。

奨学生の皆さんが、学業を始め各種活動に一層、意欲的に取り組み、自分の夢をかなえられることを期待しています。

(2) 平成29年度教育研究助成事業(奨励金・へき地学校教育支援)、教育文化事業(学校教育活動助成)の助成対象を決定しました。

平成29年度教育研究助成事業(奨励金・へき地学校教育支援)、教育文化事業(学校教育活動助成)の応募団体の申請を審査し、次のように助成することに決定しました。

平成29年度 奨 励 金 給付団体一覧

No.	応募団体名	研究・実践内容	給付額
1	第69回全国人権・同和教育研究大会 島根県実行委員会	第69回全国人権・同和教育研究大会	50万円
2	島根県高等学校体育連盟	第52回全国高等学校体育連盟研究大会	10万円
3	島根県社会科教育研究会	第50回全国中学校社会科教育研究大会	30万円
4	全国通信制教育研究大会 島根大会実行委員会	第69回全国高等学校通信制教育研究総会並びに 研究協議会島根大会	30万円
5	全国高等学校長協会人権教育研究協議会 島根大会実行委員会	全国高等学校長協会人権教育研究協議会 島根大会	10万円
6	島根県国際理解教育研究会	第10回国際理解教育研究中国ブロック大会	10万円
7	島根県商業教育研究会	第45回中国5県高等学校商業教育研究大会	10万円

平成29年度 へき地学校教育支援 助成学校一覧

No.	応募学校名	実施する事業名	給付額	No.	応募学校名	実施する事業名	給付額
1	隠岐の島町立 都万小学校	都万地区保・小・中交流 運動会	8万円	9	益田市立 桂平小学校	バスケットボール交流会	5万円
2	海士町立 海士中学校	体力向上推進活動	8万円	10	益田市立 真砂中学校	真砂まるごとフェスタ	5万円
3	隠岐の島町立 中条小学校	「わかる・できる」喜びが 感じられる授業づくり	8万円	11	吉賀町立 蔵木小学校	和太鼓マスターになろう	5万円
4	隠岐の島町立 有木小学校	地域と繋がり、豊かな心と 確かな力を育む	8万円	12	吉賀町立 柿木中学校	地域と連携した危機管理・ 防災教育	5万円
5	益田市立 匹見中学校	ふるさと学習	8万円	13	大田市立 北三瓶中学校	みんなで体と心を動かそう	5万円
6	安来市立 比田小学校	「えーひだ実感」プロジェクト	5万円	14	吉賀町立 六日市小学校	高津川の美しさを守る取組	5万円
7	雲南市立 吉田中学校	近隣中学校との交流学習・ 合同部活動	5万円	15	吉賀町市立 七日市小学校	清流高津川をとおして愛郷心 を育むふるさと教育	5万円
8	奥出雲町立 高尾小学校	「にこにこ寄席」	5万円				

平成29年度 学校教育活動 給付団体一覧

No.	応募団体名	研究・実践内容	給付額
1	島根県算数・数学教育研究会	しまね数リンピック	参加賞、優秀賞(メダル等) 433,944円分
2	島根県中学校技術・家庭科研究会	第13回島根県中学生創造アイデアロボットコンテスト大会	見本ロボット材料代・参加賞 50,000円分

福祉事業等も行っています

公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部が実施する、**教弘保険加入者に対する福祉事業**について説明します。

ここでいう「**会員**」とは教弘保険6口未満の加入者、「**正会員**」とは教弘保険6口以上の加入者をいい、(公財)日教弘の趣旨に賛同して会員になられたいわゆる「**賛同会員**」の方は含みません。

下表の(1)～(5)及び(7)の内①、②については、**事実が発生してから2年以内に申請**してください。

なお、この福祉事業の他に、(公財)日教弘本部が実施する福祉事業(賛同会員の方も含みます。)及び(株)島根教弘が行う正会員に対する記念品贈呈等があります。

内容・申請方法等詳しくは、平成29年度島根教弘会報 vol. 1 または、平成29年度島根支部事業案内をご覧ください。

項目	内 容	受給対象		平成28年度実績	
		正会員	会員	件数	金額
(1)傷病見舞金	傷病で長期に継続休職・休職をした場合に給付 ○ランクにより対象休暇日数・見舞金は異なる	○	○	22	248,000
(2)災害見舞金	不慮の事故で財産に著しい損害を受けた場合に給付 ○損害により見舞金は異なる	○	○	0	0
(3)結婚祝金	結婚した場合、祝金2万円を贈呈 *一人1回	○		83	1,660,000
(4)出産祝金	出生の子ごとに1万円を贈呈 ○夫婦とも正会員の時は双方に給付 ○正会員の配偶者の出産も可	○		145	1,460,000
(5)弔慰金	新物故会員に弔慰金3万円をお供え	○		10	300,000
(6)宿泊施設利用補助	指定の宿泊施設補助(下表参照) 島根県教育会館の宿泊補助500円/泊	○		269	720,000
				977	488,500
(7)その他 (株)島根教弘が行う記念品贈呈等	①継続記念品(継続10年・継続20年)②満口・増口記念品(40口・70口・100口)③新規正会員加入記念品④新規採用新規加入記念品⑤ユース教弘移行記念品⑥正会員記念品	○		-	-

福祉事業サービス基準

ランク	加入内容(付属保険は含まない)	
A 会員	教弘保険(No.52) 新教弘保険A型、B型、S型	単独又は通算して 6口未満
B 正会員	教弘保険(No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険A型、B型、S型	単独又は通算して 6口以上16口未満
	新教弘保険K型(追加集団)	1口～2口
C 正会員	教弘保険(No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険A型、B型、S型	単独又は通算して 16口以上26口未満
	新教弘保険K型(追加集団)	3口
D 正会員	教弘保険(No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険A型、B型、S型	単独又は通算して 26口以上46口未満
	新教弘保険K型(追加集団)	4口以上
E 正会員	教弘保険(No.52)、ユース教弘保険 新教弘保険A型、B型、S型	単独又は通算して 46口以上
	新教弘保険K型(追加集団)	5口以上

宿泊施設利用補助

宿泊補助金額と泊数
Aランク会員は宿泊補助なし
Bランク会員2,000円/泊、 年間6泊まで
Cランク会員3,000円/泊、 年間6泊まで
D・Eランク会員3,000円/泊、 年間9泊まで

新会員からの声

「先生方から学んだこと」

雲南市立加茂小学校

深田 星

島根県の新規採用小学校教諭として、今年度より雲南市立加茂小学校に勤務することとなりました。教員としての生活を始めおよそ半年が経ちました。

その半年の中で、私は先生方にと人との結びつきや、人が人を支える素晴らしさを学びました。特に強く感じたのは、私が体調を崩し休んでしまった時です。「学校のことなどはなんとかなるから、まずは自分を大切にしてください」と、温かい言葉をかけていただきました。復帰してからも、困っていると励ましてくださったり、自分の仕事を後回しにしても手伝ってくださったりしました。初任者の私を育てようとしてくださる気持ちを強く感じました。おかげで今までやってこれたと思っています。

先生方から学んだ思いやりや、人と人との繋がり大切さは、子どもたちにも伝えていこうと考えています。そのため日々の言動を大切に、研修を積み重ねていきます。

この度、教育公務員弘済会に加入しました。周りの方の勧めもあり、安心して教員生活を送るために、経済的支えが必要だと考えたからです。ライフプラン・コンサルタントの方も親身になって話をしてくださり、今までは両親に支えられてきましたが、自立した大人になろうと思います。

これからも、謙虚な姿勢を忘れず、学び続ける教師として成長していきます。

ご退職予定の皆様へ

教弘保険の満期は65歳です。満期まで是非ご継続いただき「島根教弘友の会」に正会員としてご加入ください。

ご退職後の教弘保険について

教弘保険の満期は65歳です。ただし、退職されると保険料の支払い方法が変わり、給与の源泉徴収から金融機関口座のお支払いに変わります。また、65歳までの一括払いにされますと、前納割引があります。

65歳の満期後の教弘保険について

新教弘保険K型に加入できます。この場合、健康状態のいかんにかかわらず、既加入の保険金額の範囲内で加入でき、80歳まで継続できます。ただし、友の会会員資格は75歳までです。

ご退職後の正会員の特典について

- ・定年退職の方は、宿泊施設補助、弔慰金、会報のお届け、継続記念品・正会員記念品の贈呈を継続します。また、友の会正会員に移行しますと、結婚・出産祝金、傷病見舞金などはなくなりますが、新たに友の会正会員入会記念品、人間ドック受診補助、友の会支部総会への出席、「研修と親睦の旅」への参加が加わります。
- ・定年前辞職の方は、満60歳を迎えられた年の年度末までは現職会員の資格が継続します。その後、友の会会員となり上記の特典があります。

教弘保険の加入資格について

教弘保険は、満60歳6ヵ月までの現職中しか加入できません。間もなく定年を迎えられる方は、ご加入をご検討ください。

ご退職後も 教弘保険で

教弘保険の手続きは、ジブラルタ生命のLCにお問い合わせください。

ご退職予定者説明会を開催します

これまで参加された皆さんから「大変役に立った。わかりやすかった。」など好評をいただいておりますが、今年度も日教弘共済事業の提携会社であるジブラルタ生命保険株式会社の協力を得て、「ご退職予定者説明会」を下記の通り開催します。この説明会では、教弘保険をはじめ各種保険の退職時でのお払込方法変更手続きのご案内に加え、これからの生活設計のお役にたてるよう、リタイアメント・ライフのためのセミナー等を実施させていただきます。

○期日・会場（いずれの会場も、開会10:00、終了12:30です。）





松江会場 12月2日(土) 松江エクセルホテル東急 浜田会場 11月26日(日) いわみーる 101研修室
出雲会場 11月23日(木・祝) 出雲市民会館 301研修室 益田会場 12月3日(日) ジャストホール 第1研修室

共済事業 (提携保険事業)

「教弘保険」は教職員だけが加入でき、しかも低廉な保険料で大きな保障があります。真に教職員の福利を目的とした生命保険です。

すべての教職員の皆様へ

ご自身・ご家族の病気・怪我に要する医療・介護の費用、さらに万一の場合への備えをどうするか。また一方で、子供の教育資金、住宅資金、老後資金…etc
生命保険はこのようなリスクを経済的にカバーする手段のひとつです。下記のライフサイクルを基に「LCサービス」を使って必要保障額を算出し、ご自身・ご家族の将来への備えを考えてみましょう。

<p>教員として就職、そして結婚。死亡保障とともに不慮の事故に対応する保障(高度障害等)を考えましょう。</p> 	<p>子供が生まれ家族への責任が重くなります。子供への教育資金、住宅購入資金等を考え始めるこの年代は必要保障額が大きくなります。</p> 	<p>教育・住宅資金等30代の時より更に資金が必要。加齢に伴い医療保障の充実を考えなければなりません。その他にも老後資金についてもそろそろ準備を始めましょう。</p> 	<p>子供の教育資金がピークを迎え、老後資金準備も重要な年代です。加齢に伴う健康不安から、医療保障の必要性も高まり、夫婦どちらかの親の介護に切り進む場合もあります。</p> 
--	--	--	--

<p>20代 加入例 22歳 死亡保険金 … 3,000万円 災害割増特約 … 900万円 34歳以下の方に ユース教弘保険 (災害割増特約付集団契約特約付勤労保険) 月払保険料 5,823円 22歳加入 — 保険料払込期間(15年間) —> 37歳加入</p>	<p>30代 加入例 37歳 死亡保険金 … 3,000万円 35歳以上の方に 移行 (集団契約特約付勤労保険) 月払保険料 10,530円 37歳加入 — 保険料払込期間(65歳まで) —> 65歳加入</p>	<p>40代 50代 80歳まで継続できます 新教弘保険 K型 5年毎更新 (集団契約特約付勤労保険) ※保険料は年齢別・男女別によって異なります。 ※保険料は更新時年齢により異なります。</p>
---	--	---

※ユース教弘の保障期間は加入年齢によって異なります。

※ご契約にあたっては、必ずジブラルタ生命保険のLC(ライフプラン・コンサルタント)にお問い合わせの上、保険設計書(契約概要)及び「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。上記の内容は2017年10月末日現在の概要を示したものです。

損害保険事業

教職員のみなさま専用の保険

教弘 まなびや スーパープラン

教職員賠償責任保険 + 教職員総合保険

授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求。

損害賠償金
お見舞金

生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起される。

争訟費用
損害賠償金

団体割引・損害率による割引あわせて

約40%割引

※保険料は準備項目ごとに施設別割増率を行っております。
※未払保険料(団体部分)の保険料は、印体別割増率(4%)の増徴と異なります。
※上記割引率は、教職員総合保険に適用となります。

パワハラだと訴えられる。*

争訟費用
損害賠償金

自転車で他人にケガをさせる。*

損害賠償金

部活動指導中にケガをする。

治療費

加入資格
公益財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方
1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
*校長先生・教頭先生・教諭・講師
*事務職員・用務員 (*1) 養護教諭を含みます。

【ご注釈】大学の医学部、歯学部、薬学部、看護学校等の医師、歯科医師、看護師、薬剤師の育成を目的とする学校に所属する教職員の方および、教育委員会・教育事務所等の職員の方については、加入できません。

中途加入のご案内

満期：平成30年
8月1日午後4時まで

補償期間
加入依頼日の属する月の
翌月1日午前0時から
平成30年8月1日午後4時まで

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
日本教育公務員弘済会 検索
www.nikkyoko.or.jp

教職員業務中^(※1)の賠償責任について補償
(※1) 教職員総合保険では教育業務中をいいます。

- 1 遡及補償 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
ただし、保険期間の初日より前に提起されていた請求および保険期間の初日において請求がなされるおそれがある状況を被保険者が知っていた場合はお支払い対象外(教職員賠償責任保険)
- 2 延長補償 教職員をやめた後になされた請求についても5年間補償
(教職員賠償責任保険) ※ただし、保険期間末日までに脱退された場合を除きます。
- 3 初期対応費用も補償
身体障害を被った被害者への見舞金等
- 4 教職員個人の争訟費用(弁護士費用等)及び損害賠償金を補償
支払限度額：対人・対物1億円^(※2)、その他の事故で5,000万円補償
(※2) 対人・対物については、教職員総合保険と教職員賠償責任保険の支払限度額を合算して表記しています。お支払方法等についてはパンフレットにご確認ください。

先生方の「安心」を、しっかり支える保険です。
業務中、日常の様々なトラブルから教職員のみなさまをお守りします。
傷害事故については他の生命保険・共済の給付に関係なく、保険金をお支払いします。

教職員専用の充実した補償内容です。今すぐ、お申し込みを。

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「教職員総合保険」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款になりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。平成29年7月作成 募集文書番号17-T02441

一人一人の違いを理解し、 寛容な心でかかわり合う児童の育成

～様々な障がいのある児童に対する周囲への理解教育の取組を通して～

雲南市立大東小学校

◆ 研究の方向性

本研究は、一人一人の違いを理解し、寛容な心でかかわり合う児童の育成をめざして、理解教育のあり方について模索するものである。本校で行う理解教育とは、LGBTの可能性のある児童、個別の支援が必要な児童についての理解を図るとともに、学習する場は多様にあることについて理解を図るものである。

研究内容

学校経営の重点項目に「一人一人の違いを認める理解教育の推進」を掲げ、全教職員で共通理解を図りながら実践を行った。その際、サポートチーム（校内支援委員会に加えて他機関から委員を委嘱）を結成し、検討、助言をいただきながら実践研究を行った。以下、主な実践を2例挙げる。

(1) LGBTの可能性のある児童についての理解教育

- 対象児童A児の名前を明かし、A児の心の葛藤を学習材にした指導案を作成し、学年ごとに一斉に授業を行った。どの学年においても、A児の気持ちを想像し寄り添いながら真剣に考える児童の姿が見られた。児童の心に響く理解教育ができたという手応えがあった。

(2) 特別な支援を要する児童についての理解教育と多様な学びの場についての理解教育

- いろいろな個性をもった子どもがいて、その子の特性や発達段階にあった学びの場があることについて、通級指導教室担当教員と担任とでTT授業を行った。理解教育後の児童の当該児童への接し方は明らかに変容した。



研究実践の手応え

理解教育の在り方について、以下のように行ったことはとても有効であったと考える。

- 理解教育の授業は担任を含めた複数の教員で行い、担任が学習を主導し、ねらい、まとめ、ふりかえりを行う。
- 対象児がもつ特性（良さも含めて）や本人の困り感に寄り添う姿勢で授業を組み立てる。
- 対象児がいる場合には、事前に話の内容を伝え了承を得る。
- 授業の中で、こうなってほしいという具体的な姿、願いをしっかりと児童に伝える。
- 真剣に考えた児童をほめてやり、「教師による個別支援」から「仲間による相互支援」へとつなげていく。

◆ 成果と考察

理解教育のあり方についての教職員の意識が高まり、児童一人一人の力を最大限に伸ばすために理解教育がいかに大切かを全教職員で共有できた。また、児童の言動に変容が見られ、学校全体が優しい空気に包まれているように感じられるようになった。今後も、教職員の研修を積みながら、互いを理解し、寛容な心でかかわり合う児童の育成をめざしていきたい。

島根教弘会報 平成29年度 第2号

発行日	平成29年11月10日	
発行兼編集	〒690-0887 島根県松江市殿町33番地	TEL 0852-24-1059
	公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部	FAX 0852-31-6089
	株式会社 島根教弘	TEL 0852-24-7750
責任者	西智文	印刷・製本 明和印刷有限会社